

ECE3152

- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- 施工するには、電気工士の資格が必要です。
- 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書などをお渡しください。
- 保証書に必ず必要事項を記入してください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

安全上のご注意

■必ずお守りください

警告

- 分解禁止**
●絶対に分解(指定以外の分解)・修理・改造しない。感電の原因となります。
- 禁止**
●水や雨のかかる場所(屋外など)および湿気の多い場所(浴室など)には設置しない。感電の原因となります。
- 必ず守る**
●必ず電源(AC100V)を切った状態で施工する。活線工事は感電や故障の原因となります。
- 必ず守る**
●AC100V用電源線は確実に差し込む。差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
- 禁止**
●小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。発火・発煙の原因となります。

注意

- 必ず守る**
●発信器、集中操作器、および集中消去器で新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。乾電池の破裂や液もれの原因となります。
- 必ず守る**
●取り付けける壁面の厚み・材質に注意して、確実に固定する。固定に不備があると、落下によるけがの原因となります。
- 必ず守る**
●受信器、ワイヤレス用アンテナを壁面に取り付けるまではアンテナを収納する。収納しないと、アンテナの先でけがをする原因となります。

■受信器に電源コードを使用する場合

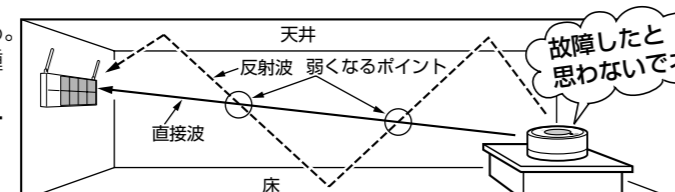
警告

- ぬれ手禁止**
●電源プラグをぬれた手で抜き差ししない。感電の原因となります。
- 禁止**
●電源コードに家具などの重いものをせない。電源コードにキズが付いて、火災や感電の原因となります。
- 禁止**
●電源コードは、引っ張ったり、たばねて使用しない。発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
- 電源プラグを抜く**
●万一、異常が発生したら電源プラグを抜く。抜かないと、発熱・発火の原因となります。

注意

- 必ず守る**
●電源プラグは確実に差し込む。差し込みが不十分な場合、発熱の原因となります。

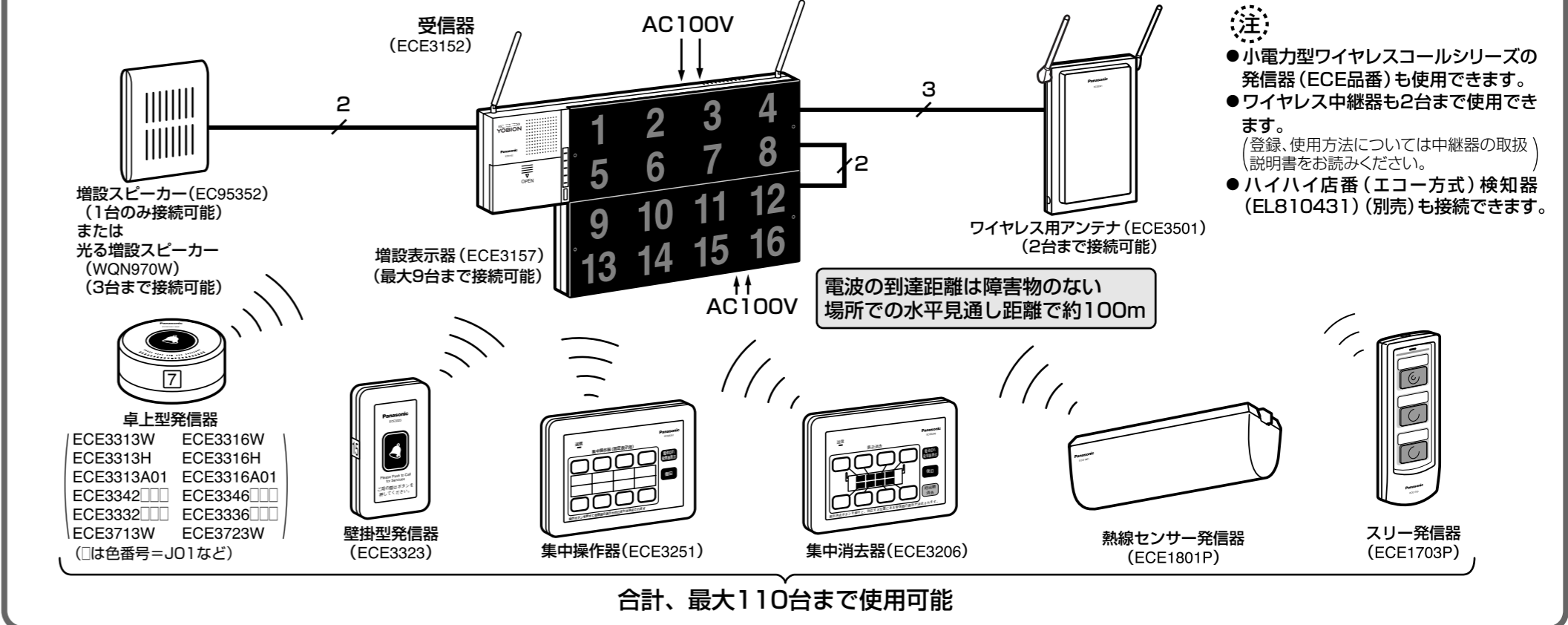
施工上のご注意

- この商品は一般連絡用ですので、緊急連絡用には使用しないでください。
- AC 100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
- 受信器のアンテナは壁面から約30°かたむけて使用してください。電波を受信しやすくなります。
- 「受信器と発信器、集中操作器、集中消去器および中継器」または「ワイヤレス用アンテナと発信器、集中操作器、集中消去器および中継器」の電波の到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離で約100mです。また、「中継器と発信器、集中消去器および集中操作器」の電波の到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離約40mです。(周辺環境により異なります。)
- (電波が届きにくい場合は、中継器またはワイヤレス用アンテナをご使用になり、動作を確認してください。)
- 下記のような使用環境では、電波(ノイズ)を受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますので注意してください。
 - 機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
 - 機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
 - 機器の周辺が金属物で囲まれている。(スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど)
 - 金属物の壁面や机などに機器を取り付けている。
 - 操作する人の体の向きで電波を遮っている。
 - 電子レンジやパソコンなどの家電商品やOA機器が機器の2m以内にある。
 - 機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
 - 機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
 - 機器の近く(10m以内)で、マイクロ波治療器を使用している。
 - 近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。
- 到達範囲内でも電波が弱くなるポイントがありますので注意してください。
 
- 受信器またはワイヤレス用アンテナを取り付ける前に電波の到達距離を確認するため、必ず発信器の登録をしてから使用場所で動作確認を行ってください。
 - 蛍光灯、冷蔵庫、コードレス電話機、パソコンなどの電波(ノイズ)を受けると、誤動作や動作しない原因となります。電波(ノイズ)を出している家電商品やOA機器から受信器やワイヤレス用アンテナを2m以上離してください。
- 送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため発信器、集中操作器、および集中消去器は医用電気機器から20cm以上離して使用してください。
- 受信器を2台以上設置する場合は、受信器またはワイヤレス用アンテナを20cm以上離して設置してください。
- 受信器、ワイヤレス用アンテナの取付場所を変更する場合、あらかじめ動作確認を行ってください。
- 増設スピーカー、スリー発信器、および熱線センサー発信器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

■付属品

●受信器(シンプルタイプ)(ECE3152)	
取付用なべタッピンネジ(4×20)	6本
電源コード(約1.7m)	1本
番号ラベル(①~⑧)(出荷時、本体に組み込み)	各1枚
発信器の番号表示ラベル(①~③②)	1枚
集中操作器用番号表示ラベル(①~⑧)	1枚
遮断操作表示ラベル	1枚
電池交換ラベル(卓上受信器)	1枚
取付金具用ラベル(ファンシー・みやび)	1枚
パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内	1枚
取扱説明書	1冊
保証書	1枚
施工説明書(発信器の登録について)	1枚
施工説明書(本紙)	1枚
型紙	1枚
異常時の点検一覧表	1枚
異常時のファンシー・みやびシリーズの発信器をお使いのお客様へ	1枚
●増設表示器(シンプルタイプ)(ECE3157)	
取付用なべタッピンネジ(4×20)	6本
送り用の電源コード(約0.4m)	1本
番号ラベル(①~③②)	各1枚
⑨~⑬までは出荷時、本体に組み込み	
集中操作器用番号表示ラベル(①~③②)	1枚
●ワイヤレス用アンテナ(ECE3501)	
取付用なべタッピンネジ(M4×25)	4本
取付用丸木ネジ(4×25)	4本
●卓上型発信器(ECE3313W, ECE3313H, ECE3313A01, ECE3316W, ECE3316H, ECE3316A01)	
乾電池別売: 単4形乾電池×2本	2本
取付用皿タッピンネジ(3×14)	1コ
両面テープ	1コ
クッション	1コ
●卓上型発信器(メニュースタンド付)(ECE3723W)	
乾電池別売: 単4形乾電池×2本	2本
つまようじ台(ECE3723Wのみ)	1コ
取扱説明書	1枚
●壁掛型発信器(ECE3323)	
乾電池別売: 単4形乾電池×2本	2本
取付用丸木ネジ(3×13)	2本
取付金具	1コ
●集中操作器(固定表示タイプ用)(ECE3251)	
乾電池別売: 単3形乾電池×2本	2本
取付用丸木ネジ(3×13)	2本
取付金具	1コ
●集中消去器(ECE3206)	
乾電池別売: 単3形乾電池×2本	2本
取付用丸木ネジ(3×13)	2本
取付金具	1コ

システム図



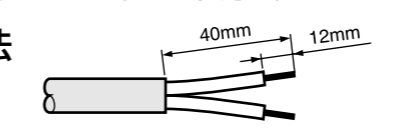
配線方法

●○端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。
●接続機器については、その商品に付属の説明書を参照してください。

AC100V配線

■適用電線 VVF φ1.6またはφ2.0

■結線方法



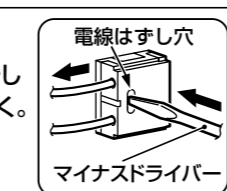
- 電線の被ふくを12mmむく。
- 1本ずつ奥までしっかり差し込む。

警告

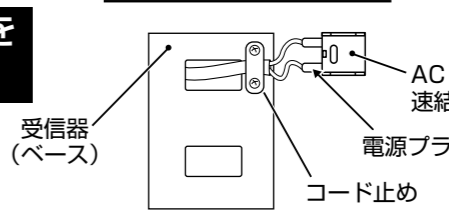
AC100V用電源線は確実に差し込む。差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。

■電線のはずし方

マイナスドライバーで電線ははずし穴を押しながら、電線を引き抜く。



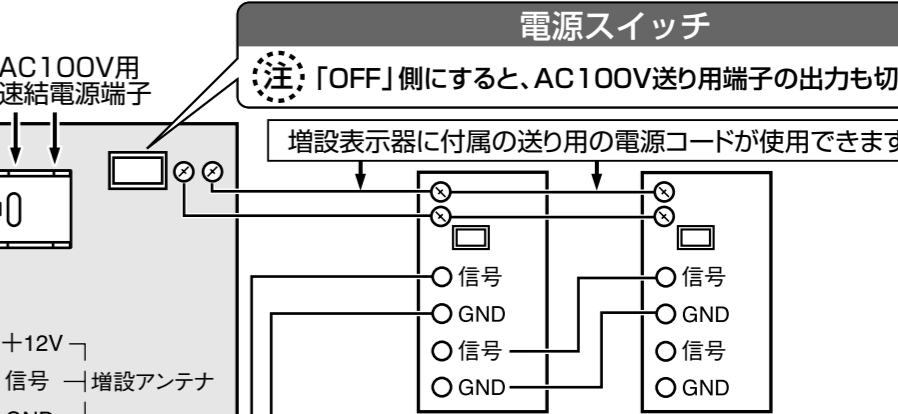
付属の電源コードを使用する場合



- コード止めをはずす
- 電源プラグを差し込む(奥までしっかり差し込んでください。)
- コード止めを電源コードを固定する

電源スイッチ

注: 「OFF」側にすると、AC100V送り用端子の出力も切れます。

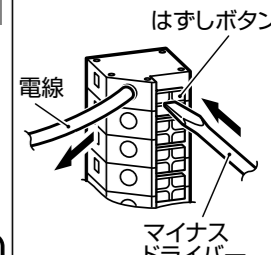


小勢力配線(速結端子)

- 電線の被ふくを10mmむく。
- 1本ずつ奥までしっかり差し込む。

■電線のはずし方

はずしボタン



警告

小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。発火・発煙の原因となります。

マイナスドライバーなどではずしボタンを押しながら、電線を引き抜く。

適合接点入力機器

- 光るチャイム(EC170)
- 光るチャイム(電源コード付)(EC170P)
- メロディサイン(EC730W)

増設用チャイムの接続端子表

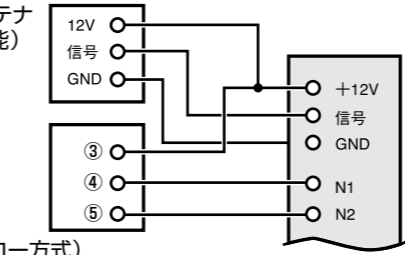
受信器	オットストップ端子	ブー音
NO端子	1端子	3端子
COM端子	2端子	4端子
		5端子

メロディサイン

受信器	メロディ	ファミリー	ピンボン
NO端子	1端子	3端子	4端子
COM端子	2端子	2端子	5端子

ハイハイ店番4(エコー方式)検知器との接続

注: ●ワイヤレス用アンテナは1台のみ接続できます。
●接点出力機器(無電圧a接点)(別売)は接続できません。



適合増設スピーカー

- 増設スピーカー(EC95352)
- 光る増設スピーカー(WQN970W)

注: 光る増設スピーカーは3台まで接続可能です。ただし、別途AC100V電源が必要です。

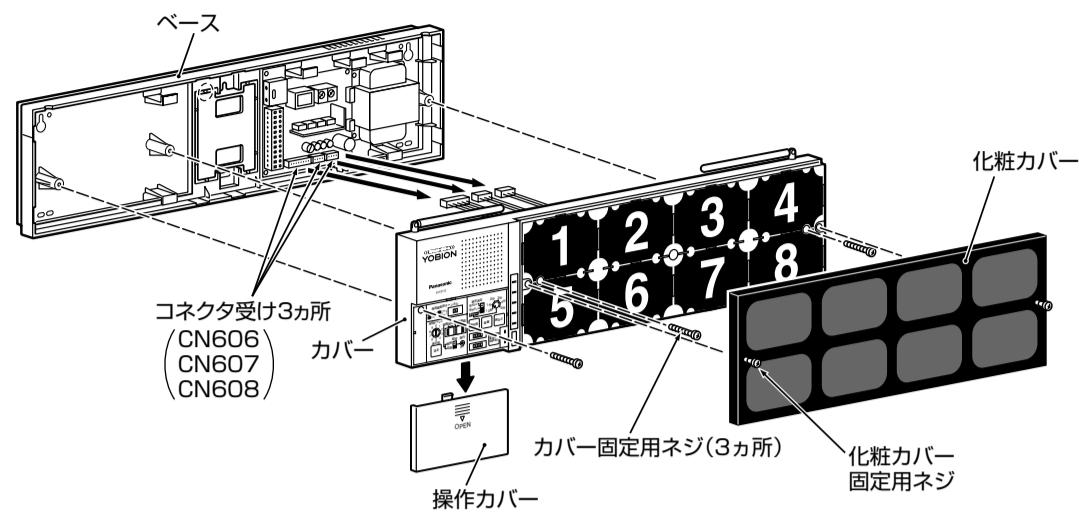
配線可能距離

配線区間	使用電線	AE線φ0.9~φ1.2
受信器~ワイヤレス用アンテナ		100m
受信器~増設表示器		50m
受信器~増設スピーカー		50m
受信器~接点入力機器(光るチャイムなど)		100m
受信器~接点出力機器(いらっしやい店番など)		100m

受信器・増設表示器の取付方法

① ベースを取りはずす

注 図は受信器を示します。
増設表示器は、カバー固定用ネジは2本、コネクタは1カ所のみです。

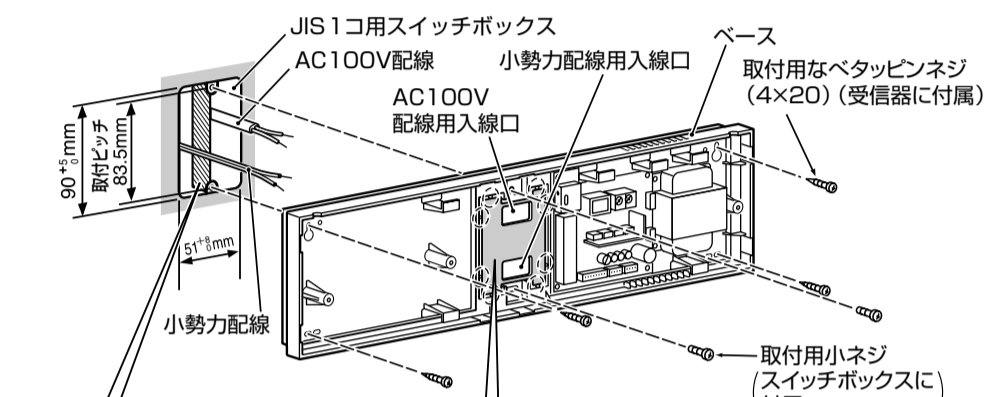


② ベースを固定する

注 アンテナを伸ばすため受信器上部から12cm以内には障害物がない位置に取り付けてください。

- 取付用小ネジで仮固定し、受信器本体の水平調整をする。
- 取付用ベタッピンネジ(4×20)4本で固定する。
- 配線工事をする。(配線方法を参照してください。)

ボックス取付する場合



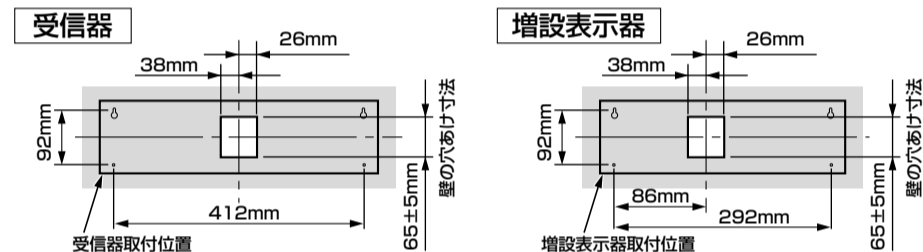
●AC100V配線と小勢力配線の間には内線規程3102-7により、堅ろうな隔壁を取り付けて絶縁してください。

●入線口が狭い場合は、ツメ(6カ所)をニッパーなどで切り取って、●部を取りはずしてください。

ボックスなし取付の場合

■壁の穴あけ寸法

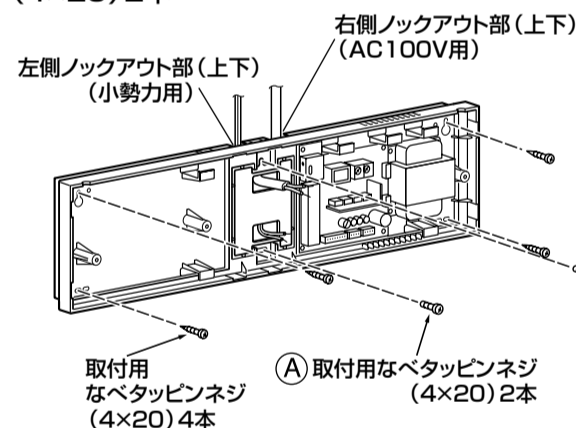
- AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
- ほかの取付方法はボックス取付と同じです。



■露出配線する場合

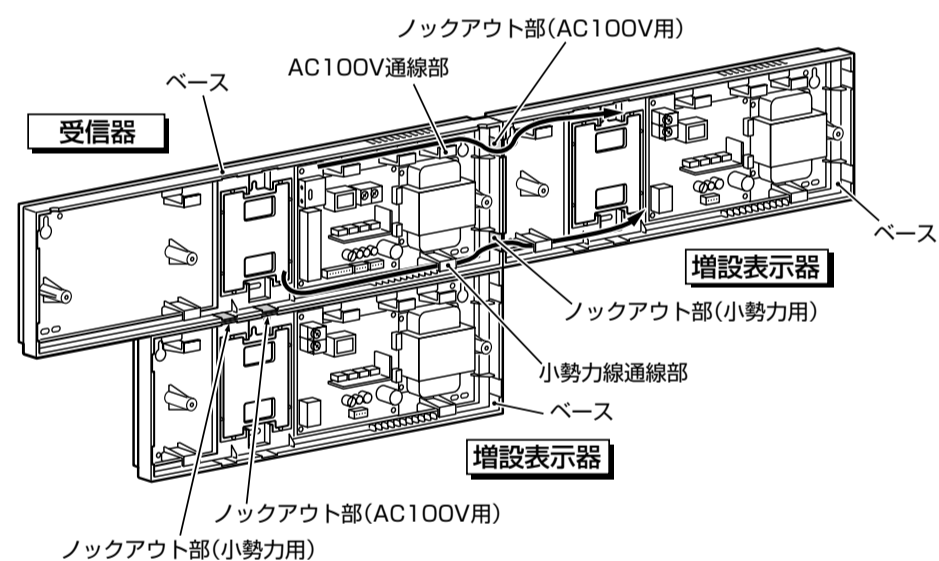
- 配線方向に合わせてロックアウト部をニッパーなどで切り取って配線する。

- 取付用ベタッピンネジ(4×20)2本で仮固定し、受信器本体の水平調整をする。
- 取付用ベタッピンネジ(4×20)4本で固定する。



増設表示器を隣接して配線する場合

(ロックアウト部を切ることによって内部配線が可能です。)

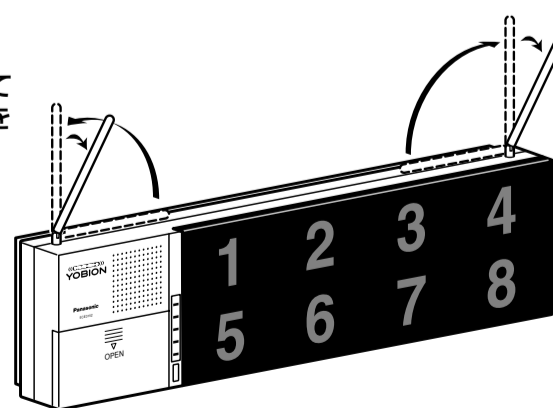


③ カバーと化粧カバーを取り付ける (「① ベースを取りはずす」参照)

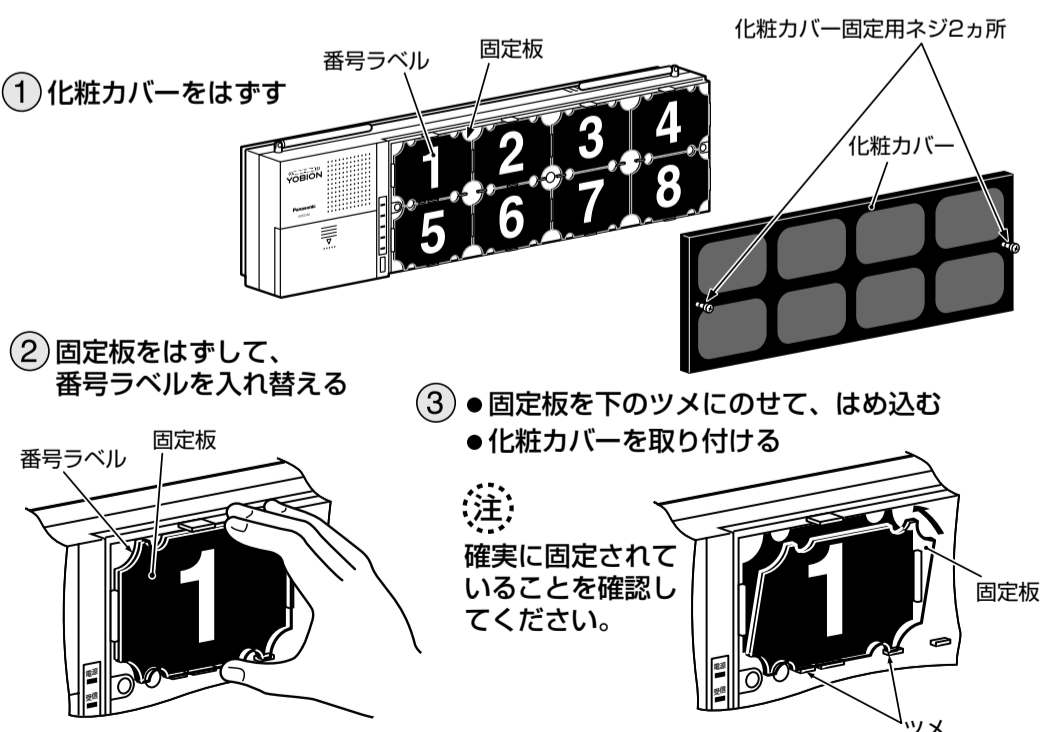
- コネクタをコネクタ受けに差し込む。注 コネクタは受信器に3カ所、増設表示器には1カ所あります。
- カバーをベースにはめ込み、カバー固定用ネジで固定する。注 2本のカバー固定用ネジで固定する。
- 化粧カバー固定用ネジで化粧カバーを固定する。

④ アンテナを伸ばす

注 ●壁面から約30°かたむけて使用してください。電波を受信しやすくなります。
●増設表示器にアンテナはありません。



■番号ラベルの交換 ●増設表示器も同じ手順で交換できます。



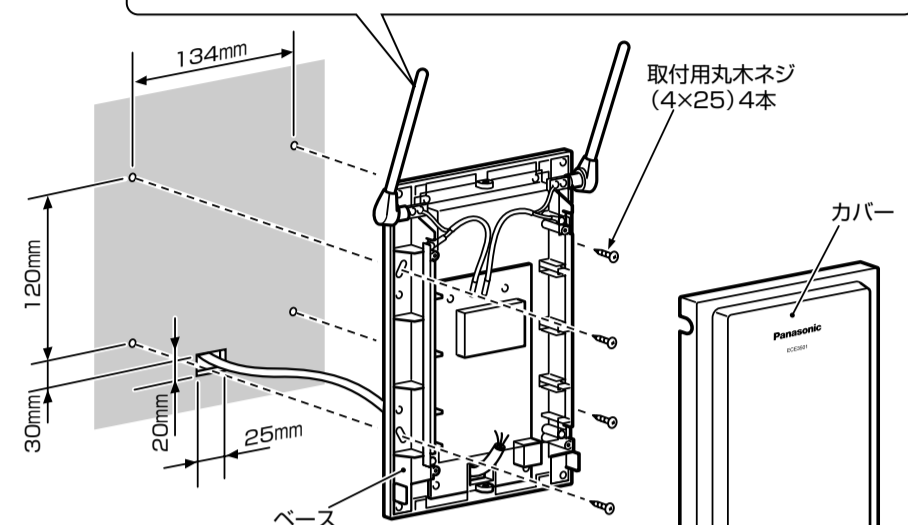
ワイヤレス用アンテナの取付方法

注 アンテナは壁面から約30°かたむけて使用してください。電波を受信しやすくなります。

ボックスなし取付の場合

- 壁面に下記寸法の通線口を開ける。
- カバー固定ネジをゆるめ、カバーを開ける。
- ベースに電線を入線後、壁面に固定する。
- 配線工事をする。(配線方法を参照してください。)
- カバー上部のフックをベースに引っ掛け、カバーをカバー固定ネジで固定する。

注 アンテナを伸ばすためワイヤレス用アンテナ上部から12cm以内には障害物がないところに取り付けてください。



●カバー固定ネジをドライバーで締め付けるためワイヤレス用アンテナの下から30cm以内には障害物がないところに取り付けてください。

ボックス取付の場合

- 安全のため、金属製の埋込ボックスはD種(第三種)接地工事をしてください。(接地抵抗100Ω以下)
- AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
- ベースを取付用ベタッピンネジ(M4×25)4本でボックスに固定してください。そのほかはボックスなし取付と同じです。

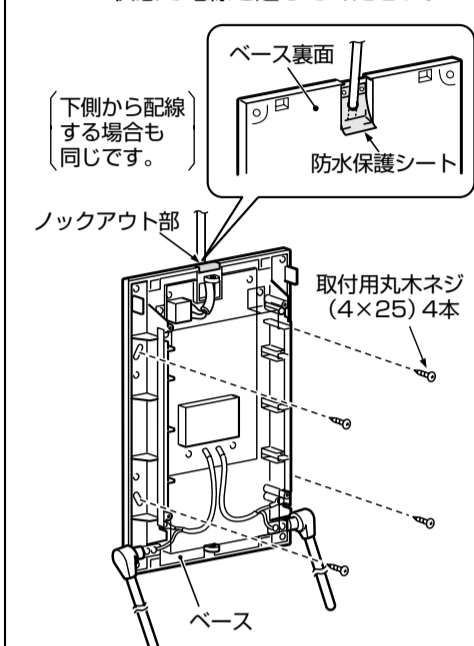
●金属製の埋込ボックス外形寸法よりユニット寸法は上下左右2mmの余裕となっています。
壁面加工時は十分注意してください。

露出配線する場合

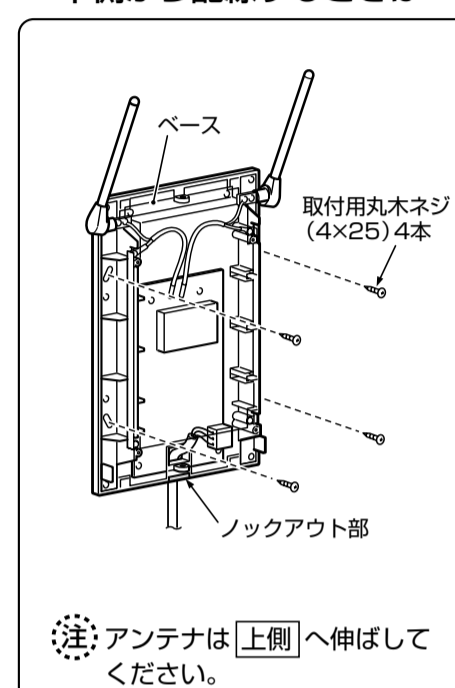
- ロックアウト部をニッパーなどで切り取ってください。
- 注 配線方向に合わせて、ベースの取付方向を変更してください。カバーの取付方向は固定されています。(ロゴマークが上側)

●上側から配線するときは…

注 ●配線からの水滴に注意して湿気のない場所で使用してください。
●水滴浸入防止のため、防水保護シートはベースの裏面に付いた状態で電線を通してください。

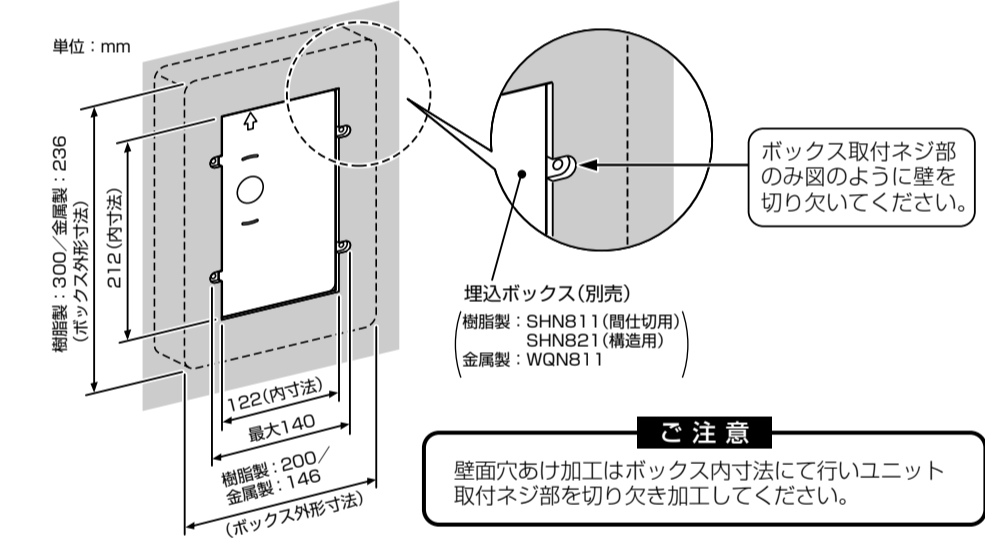


●下側から配線するときは…



注 アンテナは「上側」へ伸ばしてください。

注 アンテナは「下側」へ伸ばしてください。



ご注意

壁面穴あけ加工はボックス内寸法にて行いユニット取付ネジ部を切り欠き加工してください。

発信器の取付方法

●ファンシーシリーズ(ECE3342・ECE3346品番)については、別紙「ファンシーおよびみやびシリーズの発信器をお使いのお客様へ」を参照してください。

卓上型発信器

〈固定しない場合〉

- 取付板にクッション(付属)を貼り付けて使用してください。
- 注 机などにキズがつきません。

〈両面テープで固定する場合〉

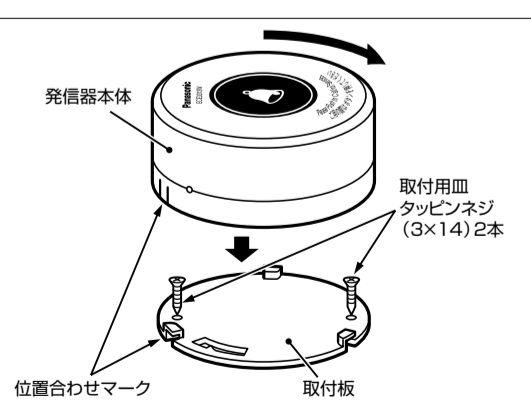
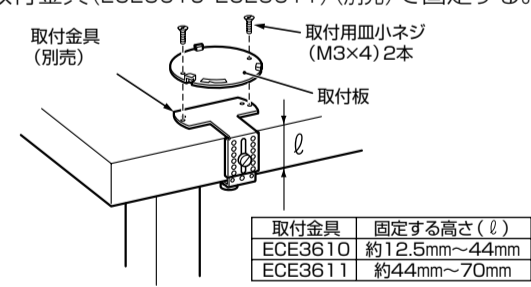
- 両面テープ(付属)を取付板に貼り付けて固定する。
- 注 粘着力が強いので、両面テープをはがすときはテーブルの表面がはがれるおそれがありますので注意してください。

〈ネジで固定する場合〉

- 取付用皿タッピンネジ(3×14)2本で取付板を固定する。
- 発信器本体と取付板の位置合わせマークを合わせ、発信器本体を「カチッ」と音がするまで右へ回転させ、取り付ける。

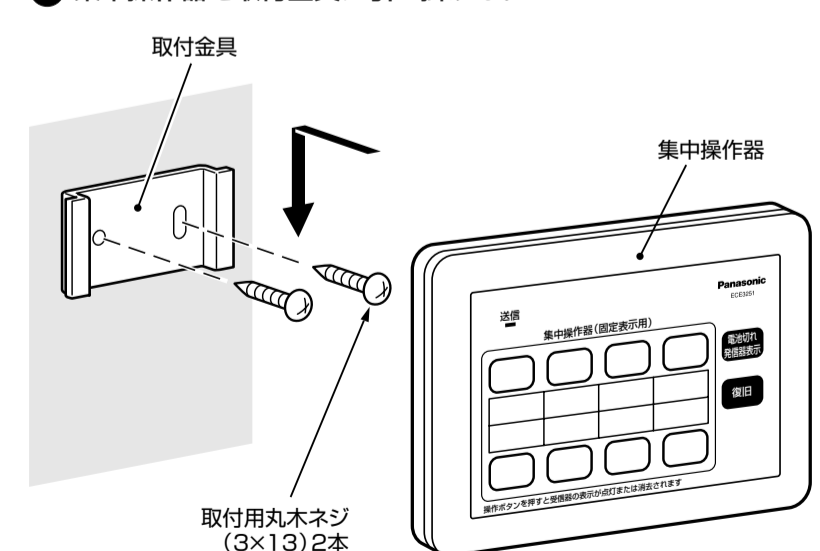
〈取付金具で固定する場合〉

- 取付金具(ECE3610・ECE3611)(別売)で固定する。



壁掛型発信器・集中操作器・集中消去器

- 図は集中操作器を示します。
- ① 取付用丸木ネジ(3×13)2本で取付金具を固定する。
- ② 集中操作器を取付金具に引っ掛ける。



■施工店様へお願い 使用する前に 1 周波数チャンネルの確認、2 乾電池を入れる、3 発信器にシールを貼る、4 受信器への登録 が必要です。

別紙の 施工説明書「発信器の登録について」にしたがって登録し、発信器を操作して受信器が正常に動作することを確認してください。